

## IV 第53回市政に関する世論調査の結果

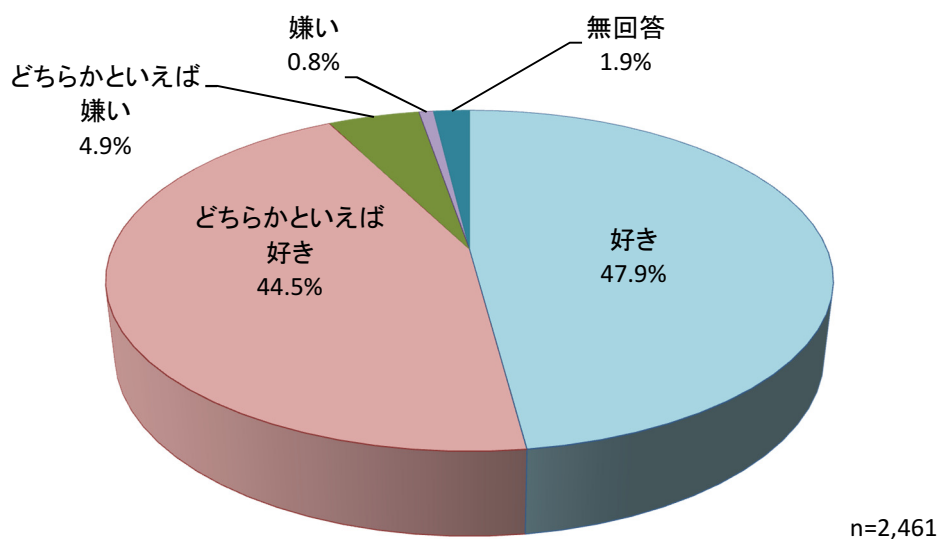
### 1. 宇都宮市に対する感じ方について

#### (1) 宇都宮市の好き・嫌い

◇「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き(計)】が9割強

問1	宇都宮市を好きですか、それとも嫌いですか。	(○は1つ)
		n=2,461
1	好き	47.9%
2	どちらかといえば好き	44.5%
3	どちらかといえば嫌い	4.9%
4	嫌い	0.8%
	(無回答)	1.9%

<図IV-1-1>全体



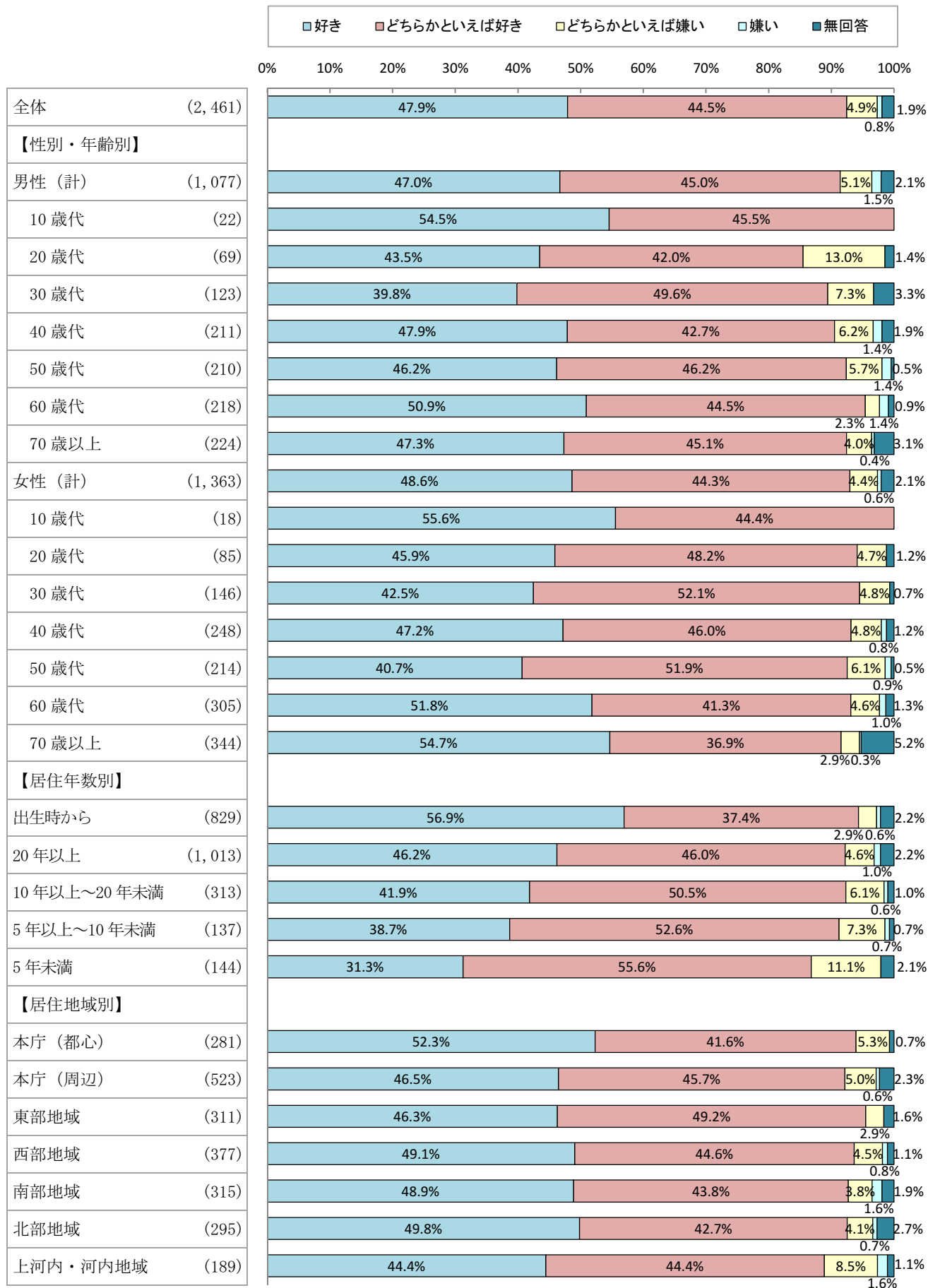
宇都宮市を好きか、嫌いか聞いたところ、「好き」が47.9%、「どちらかといえば好き」が44.5%で、これらを合わせた【好き(計)】が92.4%であった。一方、「どちらかといえば嫌い」4.9%、「嫌い」0.8%で、これらを合わせた【嫌い(計)】は5.7%と1割に満たない。(図IV-1-1)

性別・年齢別で見ると、【好き(計)】は<男性/10歳代>と<女性/10歳代>がいずれも100.0%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が95.4%であった。【好き(計)】は、性別・年齢別に関係なく8割半ば以上となっている。一方、【嫌い(計)】は<男性/20歳代>が13.0%で最も高く、<男性/40歳代>が7.6%、<男性/30歳代>が7.3%と続いている。(図IV-1-2)

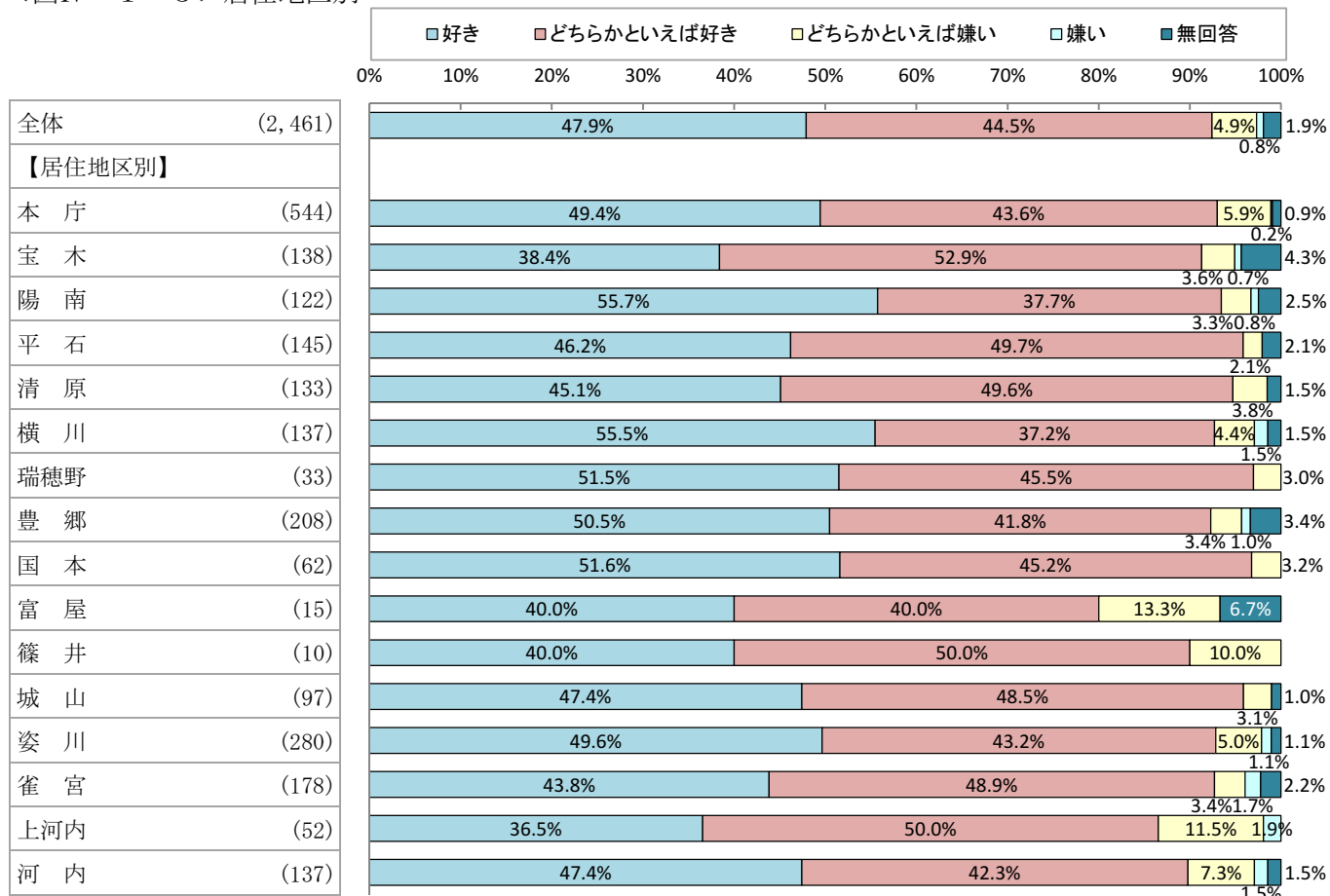
居住年数別で見ると、【好き(計)】は<出生時から>が94.3%で最も高く、次いで<10年以上~20年未満>が92.4%であった。一方、【嫌い(計)】は<5年未満>が11.1%で最も高く、次いで<5年以上~10年未満>が8.0%であった。(図IV-1-2)

居住地域別で見ると、【好き(計)】は<東部地域>が95.5%で最も高く、次いで<本庁(都心)>が93.9%であった。一方、【嫌い(計)】は<上河内・河内地域>が10.1%で最も高く、次いで<本庁(周辺)>が5.6%であった。(図IV-1-2)

<図IV-1-2>性別・年齢別/居住年数別/居住地域別



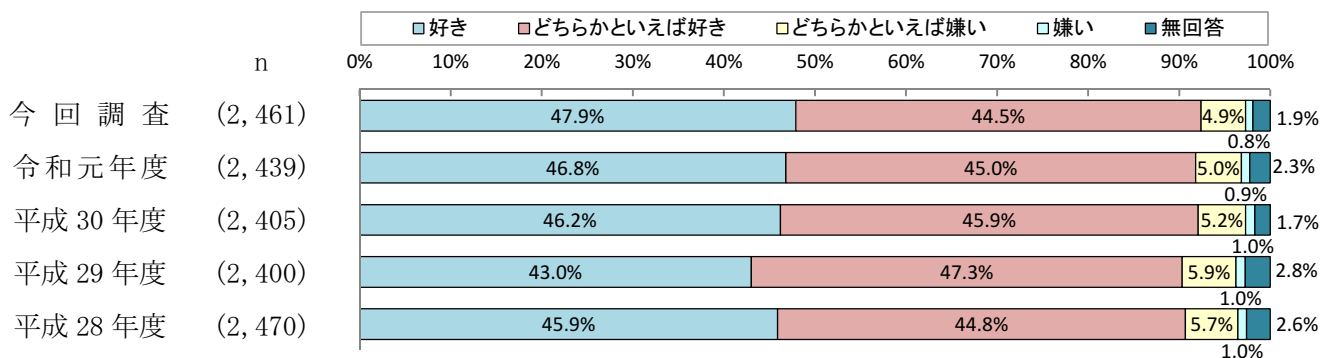
<図IV-1-3>居住地区別



【経年比較】

選択項目	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い	無回答
令和2年度	47.9%	44.5%	4.9%	0.8%	1.9%
令和元年度	46.8%	45.0%	5.0%	0.9%	2.3%
平成30年度	46.2%	45.9%	5.2%	1.0%	1.7%
平成29年度	43.0%	47.3%	5.9%	1.0%	2.8%
平成28年度	45.9%	44.8%	5.7%	1.0%	2.6%

<図IV-1-4>経年比較



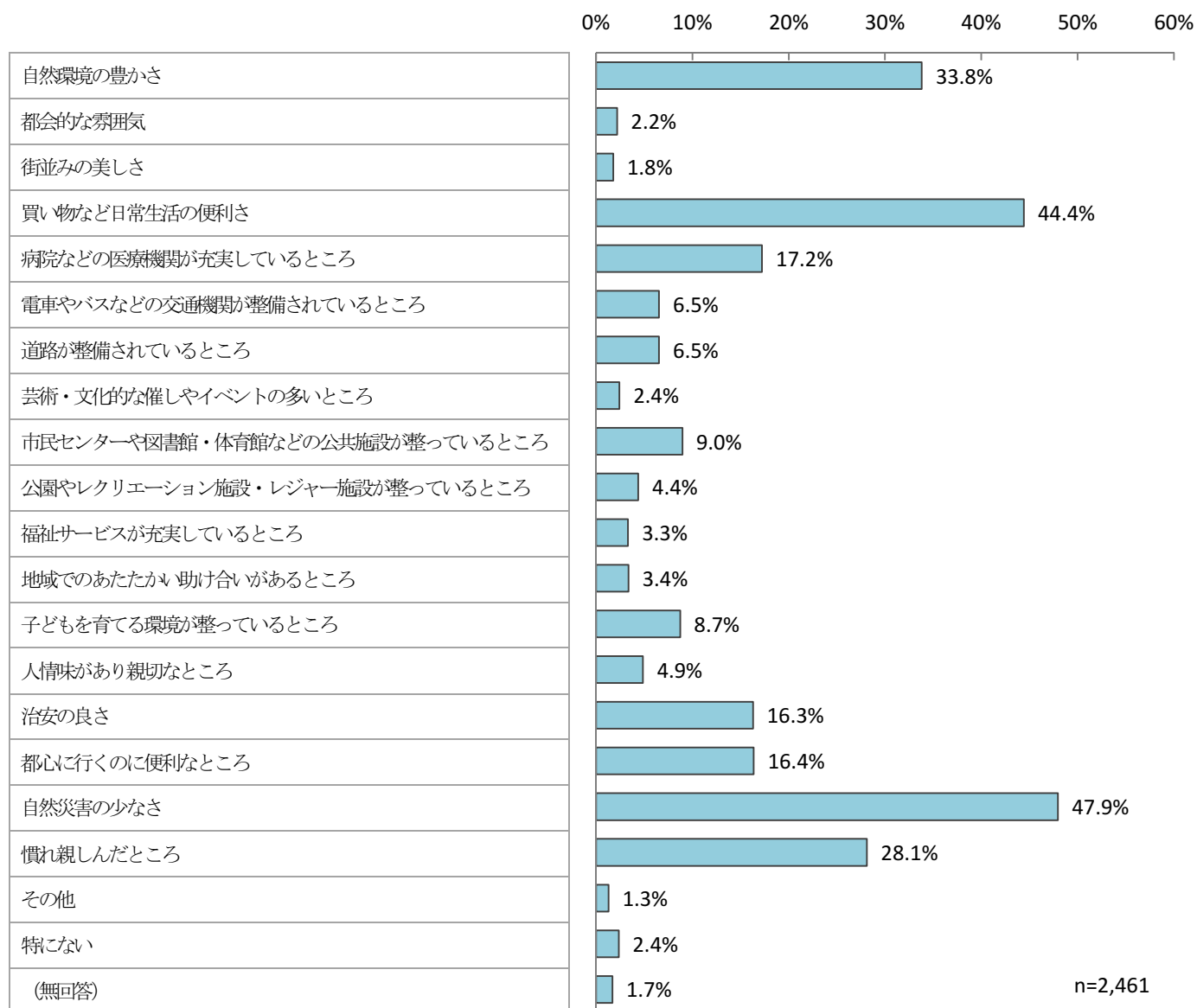
【好き（計）】及び【嫌い（計）】については、過去4年間と比較しても、特に大きな違いは見られない。（図IV-1-4）

(2) 好きな理由

◇ 「自然災害の少なさ」が5割弱

問2 宇都宮市の好きだと思ふところをあげてください。		(○は3つまで)
		n=2,461
1	自然環境の豊かさ	33.8%
2	都会的な雰囲気	2.2%
3	街並みの美しさ	1.8%
4	買い物など日常生活の便利さ	44.4%
5	病院などの医療機関が充実しているところ	17.2%
6	電車やバスなどの交通機関が整備されているところ	6.5%
7	道路が整備されているところ	6.5%
8	芸術・文化的な催しやイベントの多いところ	2.4%
9	市民センターや図書館・体育館などの公共施設が整っているところ	9.0%
10	公園やレクリエーション施設・レジャー施設が整っているところ	4.4%
11	福祉サービスが充実しているところ	3.3%
12	地域でのあたたかい助け合いがあるところ	3.4%
13	子どもを育てる環境が整っているところ	8.7%
14	人情味があり親切なところ	4.9%
15	治安の良さ	16.3%
16	都心に行くのに便利なところ	16.4%
17	自然災害の少なさ	47.9%
18	慣れ親しんだところ	28.1%
19	その他	1.3%
20	特にない	2.4%
	(無回答)	1.7%

<図IV-1-5>全体



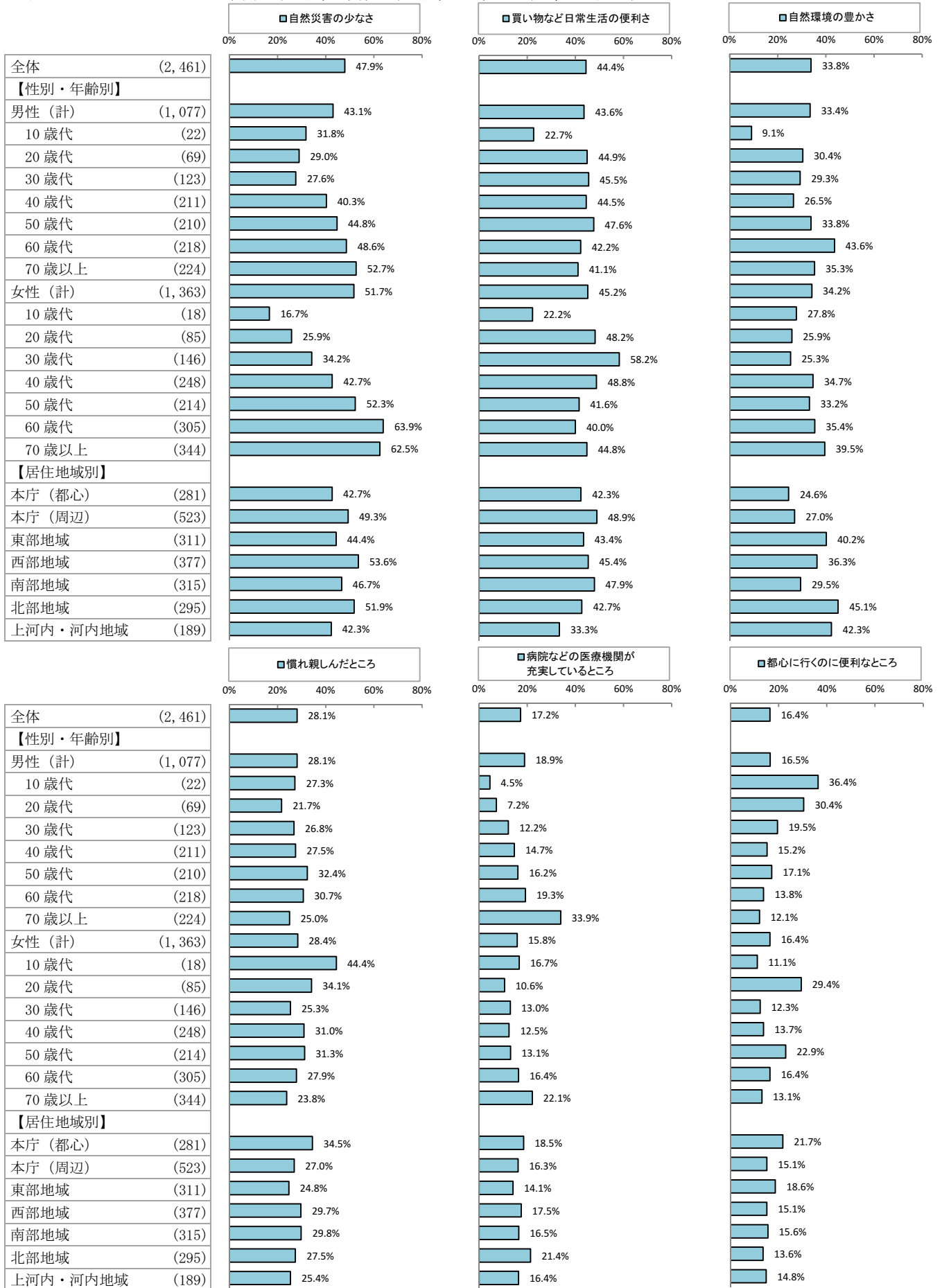
宇都宮市で好きだと思うところについて、1位が「自然災害の少なさ」で47.9%、2位「買い物など日常生活の便利さ」で44.4%、3位「自然環境の豊かさ」で33.8%、4位「慣れ親しんだところ」で28.1%、5位「病院などの医療機関が充実しているところ」で17.2%、6位「都心に行くのに便利なところ」で16.4%という順であった。(図IV-1-5)

上位6項目について性別・年齢別でみると、「自然災害の少なさ」は<女性/60歳代>が63.9%で最も高く、次いで<女性/70歳以上>が62.5%であった。「買い物など日常生活の便利さ」は<女性/30歳代>が58.2%で最も高かった。「自然環境の豊かさ」は<男性/60歳代>が43.6%で最も高く、「慣れ親しんだところ」は<女性/10歳代>が44.4%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<男性/70歳以上>が33.9%、「都心に行くのに便利なところ」は<男性/10歳代>が36.4%で最も高かった。(図IV-1-6)

居住地域別でみると、「自然災害の少なさ」は、各地域で4割強から5割半ばとなっているが、<西部地域>が53.6%で最も高く、「買い物など日常生活の便利さ」は<本庁(周辺)>が48.9%、「自然環境の豊かさ」は<北部地域>が45.1%、「慣れ親しんだところ」は<本庁(都心)>が34.5%、「病院などの医療機関が充実しているところ」は<北部地域>が21.4%、「都心に行くのに便利なところ」は<本庁(都心)>が21.7%で最も高かった。(図IV-1-6)

その他の意見では、「都会すぎず田舎すぎないところ」「将来に向けて活気がある」などがあった。

<図IV-1-6>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別（上位6項目）

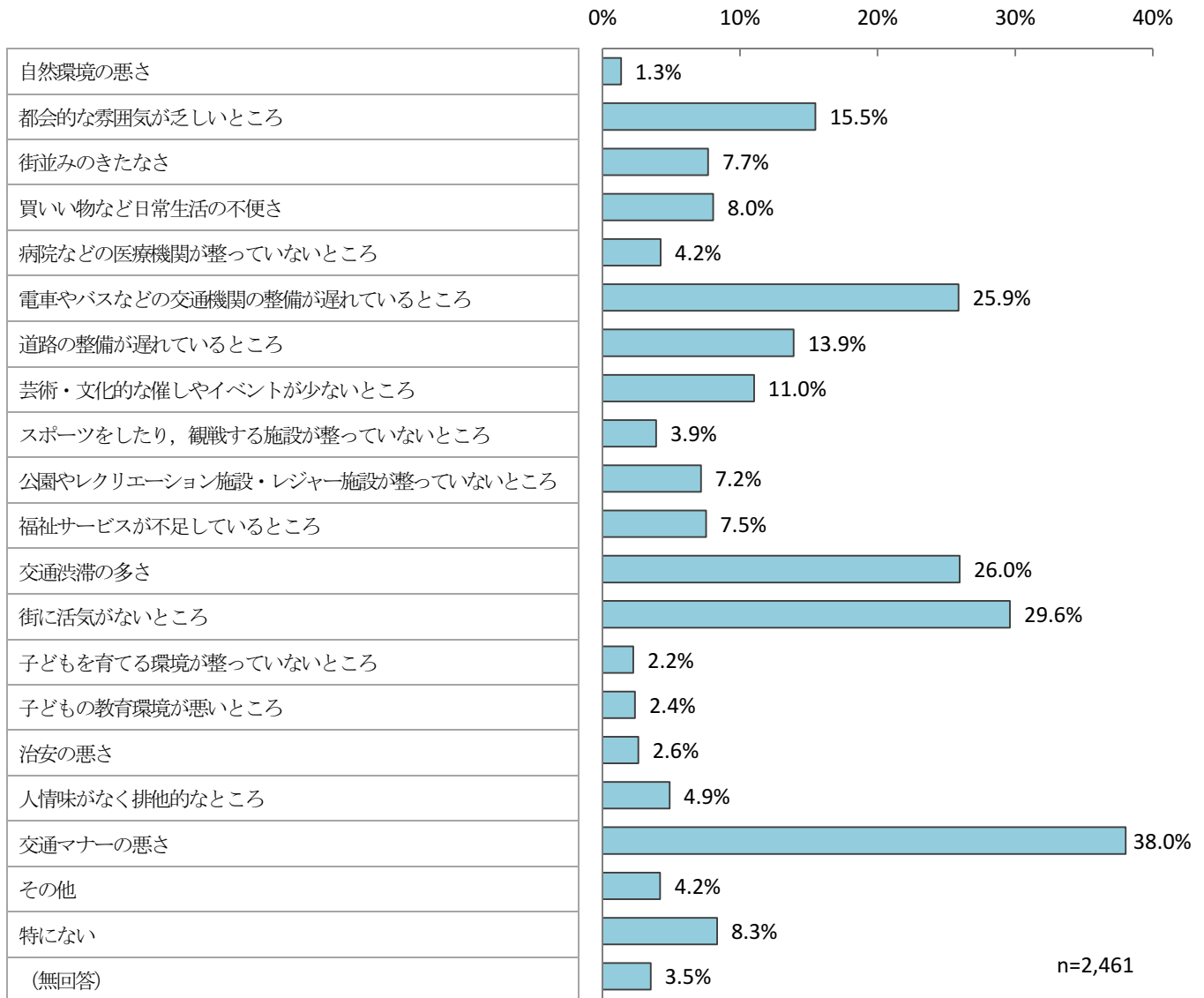


(3) 嫌いな理由

◇ 「交通マナーの悪さ」が4割弱

問3 宇都宮市の嫌いだと思うところをあげてください。		(○は3つまで)
		n=2,461
1	自然環境の悪さ	1.3%
2	都会的な雰囲気が乏しいところ	15.5%
3	街並みのきたなさ	7.7%
4	買い物など日常生活の不便さ	8.0%
5	病院などの医療機関が整っていないところ	4.2%
6	電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ	25.9%
7	道路の整備が遅れているところ	13.9%
8	芸術的・文化的な催しやイベントが少ないところ	11.0%
9	スポーツをしたり、観戦する施設が整っていないところ	3.9%
10	公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っていないところ	7.2%
11	福祉サービスが不足しているところ	7.5%
12	交通渋滞の多さ	26.0%
13	街に活気がないところ	29.6%
14	子どもを育てる環境が整っていないところ	2.2%
15	子どもの教育環境が悪いところ	2.4%
16	治安の悪さ	2.6%
17	人情味がなく排他的なところ	4.9%
18	交通マナーの悪さ	38.0%
19	その他	4.2%
20	特にない	8.3%
	(無回答)	3.5%

<図IV-1-7>全体



宇都宮市の嫌いだと思うところについては、1位が「交通マナーの悪さ」で38.0%、2位「街に活気がないところ」で29.6%、3位「交通渋滞の多さ」で26.0%、4位「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」で25.9%、5位「都会的な雰囲気が乏しいところ」で15.5%、6位「道路の整備が遅れているところ」で13.9%という順であった。(図IV-1-7)

性別・年齢別でみると、「交通マナーの悪さ」は<男性/60歳代>が43.1%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が42.9%であった。「街に活気がないところ」は<女性/60歳代>が38.4%で最も高く、「交通渋滞の多さ」は<男性/30歳代>が43.1%で最も高かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<女性/40歳代>が37.1%で最も高かった。「都会的な雰囲気が乏しいところ」は<男性/10歳代>が31.8%で最も高かった。「道路の整備が遅れているところ」は<男性/60歳代>が22.0%で最も高かった。(図IV-1-8)

居住地域別でみると、「交通マナーの悪さ」は<西部地域>が40.3%で最も高かった。「街に活気がないところ」は<本庁(都心)>が34.5%で最も高く、「交通渋滞の多さ」は<東部地域>が35.0%で最も高かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は<東部地域>が33.8%で最も高かった。「都会的な雰囲気が乏しいところ」は<本庁(都心)>が18.1%で最も高かった。「道路の整備が遅れているところ」は<上河内・河内地域>が20.1%で最も高かった。(図IV-1-8)

その他の意見では、「公共交通(バス、LRTなど)や道路整備に対する不満」「行政に対する不満」「街並みに対する不満」「施設不足」「税金・公共料金が高い」などがあった。



<図IV-1-8>性別・年齢別／居住年数別／居住地域別（上位6項目）

